

平成 30 年度 各種調査結果を活用した学力保障の取組事例

事務所名	中部教育事務所	学校名	花巻市立花巻中学校	電話	0198-23-2151
------	---------	-----	-----------	----	--------------

校内研究推進と家庭学習の定着による学力向上の取組

【H30 花巻中「学力向上アクションプラン」の目標】

※ 「学力向上アクションプラン」・・・『「確かな学び・豊かな学び」実現プラン』の花巻市版

- (1) 生徒質問紙の「授業内容がよくわかる」の 1, 2 番の回答（肯定）を平均して 85%以上にする。
- (2) 平日の家庭学習 2 時間以上の生徒の割合が 20%を上回る。

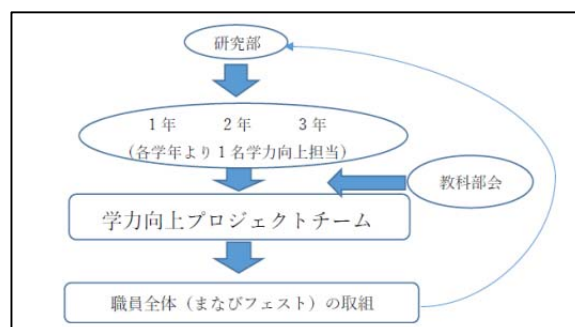
【組織的な対応で工夫した点】

- (1) 校内体制の整備 研究部と学年との連携を図り、組織的・効率的に推進できる体制を整備した。
- (2) 目標の共通理解 各種調査結果を分析し、その結果を踏まえた「学力向上アクションプラン」について、共通理解を図った。
- (3) わかる授業の実現 一人一授業（一人一回の授業公開）により、ユニバーサルデザインの手法を生かした「わかる授業づくり」の実現を目指した。
- (4) 家庭学習の習慣化と充実 研究部、学年・学級、生徒会活動の連携をする中で、家庭学習の習慣化と充実を図った。

【具体的な取り組み】

(1) 校内体制の整備

研究部が提案した学力向上アクションプランが具体的に実施されるよう、各学年に学力向上担当を置き、全国学力・学習状況調査や県学習定着度状況調査及び校内のアンケート結果を分析した。この結果を教科部会等で共有することで、授業改善のヒントにしたり家庭学習の充実に寄与したりした。



また、学期末反省を受けて、学力向上に特化したプロジェクトチームを作り、学力向上のために具体的に学校全体で取り組む内容についての方策を考え、それを推進させた。10 人程度のプロジェクトチームなのでかなり深まった論議ができ、全職員確認の下での取り組みができています。

(2) 目標の共通理解

- ① 前年度の調査結果を受け、「わかる授業の推進」と「力が身につく家庭学習」をまなびフェストの数値目標に掲げ、教職員のみでなく、保護者にも周知し協力を求めた。

下表はまなびフェストで示した数値目標と結果を示している。

	「授業がよくわかる」平均 ※1		家庭学習 2 時間以上 ※1	
	数値目標	結果	数値目標	結果
平成 30 年度	85%	— ※2	23%	— ※2
平成 29 年度	80%	81%	20%	21%
平成 28 年度	—	73%	—	10%

※1 「授業がわかる」「家庭学習 2 時間以上」の平均は、全国学調、県学調、生徒アンケートの 3 調査の平均とする。

※2 本年度の結果については 3 学期に出し、来年度の数値目標につなげる。

- ② 各種調査をもとに、課題となっている内容とその内容にかかわる単元の指導や言語活動の充実を図るための取組について、各教科部会で協議した。課題となっている点の解決のため取組を各教科でまとめ、一人一授業の研究会で協議を深めた。

教科	教科の取組
国語	「考えたことをまとめて書く」ことに課題があることから、振り返りや単元のまとめとして「書くこと」を取り入れる。
社会	視覚化、共有化の視点を持ち、資料の読み取り、自分の考えを深める授業づくりを重点とする。家庭学習にワーク、プリントを活用し基礎・基本の定着を図る。
数学	グループ学習、ペア学習により、自分の考えを伝えたり、他の考えから理解を深めたりする。ワークやドリルを活用し家庭学習の充実を図る。
理科	振り返りをしやすい板書づくりをする。思考を深めるためグループ活動を設定する。実験、映像、実物、模型の提示などで、視覚化の積極的活用をする。
英語	ねらい、学習課題を明確にして、ステップを踏んで活動をさせる。授業で扱った基礎的基本的事項を定着させ、積極的に活動につなげる。
保健体育	ICTの活用により視覚化を図り、運動の構造化、技能習得の助けとする。授業の見通しを伝え、落ち着いた取り組みとなるようにする。
技術・家庭 音楽 美術	単元や単位時間において身につけさせたい力を明確にして課題提示、振り返りを確実に行う。 資料提示の工夫をし、具体的なイメージで考えたり、想像しやすくする。
特別支援	生徒の実態に応じた教材を工夫する。習熟時間の確保をする。

(3) わかる授業の実現 ～ ユニバーサルデザインの手法を生かした一人一授業 ～

授業力向上や授業改善を目指し、教師一人一人が授業を公開し、お互いに助言できる機会を設定した。全教科、全領域でユニバーサルデザインの手法を生かし、すべての生徒にわかる授業づくりを目指した。また、「いわての授業づくり3つの視点」も重点項目として確認した。以下その視点を示す。

- ① 個人やグループでの活動場面を設定し、互いに認め合う場面を設定する中で理解を深めさせる。
- ② 学習用具や話し方などの授業中のルールを明確にし、全校共通で学習を進めていく。学習課題を明確にし、生徒と共有して授業を展開する。
- ③ 実験や操作、劇化等を通じて理解を深める。
- ④ 既習事項を復習する場面、本時の内容を定着する場面を授業の中に位置づける。
- ⑤ 学習の成果を実感したり、学習のプロセスを振り返ったりする中で、わかった・できたという思いを持たせる。



グループで考えた演出で、英語発表＝英語一授業

(4) 家庭学習の習慣化と充実

① 年間をとらして家庭学習が継続されるよう、共通指導項目を確認しあい、年度当初に各学年ごとに家庭学習の仕方についてガイダンスを行う等、徹底を図った。

＜ 各学年共通の家庭学習の約束 ＞

- 自主学習ノート 1日2ページ、1週間14ページ、テスト前1日3ページ
- 1週間でやりきれなかった分は（部活動のない）月曜日に行く。
- ワークは3ページでノート1ページ分として数える。（教科や期間は学年で確認。）

② 「自学のてびき～力になる自主学習の仕方を身につけよう！～」により、家庭学習のやり方を指導した。

平成30年度 【4・5月 自主学習取り組み日程】

日	行事	自主学習取り組み	部活動開催
1	1月 始業式		
2	2月 入学式		
3	3月 卒業式		
4	4月 入学式		
5	5月 入学式		
6	6月 入学式		
7	7月 入学式		
8	8月 入学式		
9	9月 入学式		
10	10月 入学式		
11	11月 入学式		
12	12月 入学式		
13	1月 入学式		
14	2月 入学式		
15	3月 入学式		
16	4月 入学式		
17	5月 入学式		
18	6月 入学式		
19	7月 入学式		
20	8月 入学式		
21	9月 入学式		
22	10月 入学式		
23	11月 入学式		
24	12月 入学式		
25	1月 入学式		
26	2月 入学式		
27	3月 入学式		
28	4月 入学式		
29	5月 入学式		
30	6月 入学式		
31	7月 入学式		
32	8月 入学式		
33	9月 入学式		
34	10月 入学式		
35	11月 入学式		
36	12月 入学式		
37	1月 入学式		
38	2月 入学式		
39	3月 入学式		
40	4月 入学式		
41	5月 入学式		
42	6月 入学式		
43	7月 入学式		
44	8月 入学式		
45	9月 入学式		
46	10月 入学式		
47	11月 入学式		
48	12月 入学式		
49	1月 入学式		
50	2月 入学式		
51	3月 入学式		
52	4月 入学式		
53	5月 入学式		
54	6月 入学式		
55	7月 入学式		
56	8月 入学式		
57	9月 入学式		
58	10月 入学式		
59	11月 入学式		
60	12月 入学式		
61	1月 入学式		
62	2月 入学式		
63	3月 入学式		
64	4月 入学式		
65	5月 入学式		
66	6月 入学式		
67	7月 入学式		
68	8月 入学式		
69	9月 入学式		
70	10月 入学式		
71	11月 入学式		
72	12月 入学式		
73	1月 入学式		
74	2月 入学式		
75	3月 入学式		
76	4月 入学式		
77	5月 入学式		
78	6月 入学式		
79	7月 入学式		
80	8月 入学式		
81	9月 入学式		
82	10月 入学式		
83	11月 入学式		
84	12月 入学式		
85	1月 入学式		
86	2月 入学式		
87	3月 入学式		
88	4月 入学式		
89	5月 入学式		
90	6月 入学式		
91	7月 入学式		
92	8月 入学式		
93	9月 入学式		
94	10月 入学式		
95	11月 入学式		
96	12月 入学式		
97	1月 入学式		
98	2月 入学式		
99	3月 入学式		
100	4月 入学式		

(日程を示し、各自が計画的に実施できるようにした)

自学のてびき

花巻中学校

授業で理解した内容について、確かに自分のものにするためには、何度か復習することが必要です。また、「授業で理解できない部分がある。」「授業の進み方が早い。」と感じる教科については予習が必要です。授業は、もちろん本気で取り組みますが、授業以外の時間をどのくらい学習に向けるかによって、身につく量が違ってきます。この、ノートを毎日やって提出することを軸に、自主学習を毎日やる習慣や内容を考え計画する力を養ってきました。3年生の1学期のスタートに、改めて自主学習の意義を考え、自分なりの目標、目的をもって取り組んでいきましょう。

【 自学ノートの進め方 】 出すだけの自学から理解が深まる自学へ

- ① 毎日提出する。 → 毎日取り組む習慣をつくる
※係は、自学ノートは、小ホールに運ぶことにする
- ② 普段は2ページ、テスト前は3ページに取り組み。
ただし、ワーク本誌を提出したい場合は、3ページをノート1ページ分としてかぞえる。(ワークでも良い期間は、テスト前の指示された期間のみ)
受験教材(新研究や整理と対策)、プリント等もワークと同じ扱いとする。
- ③ 1週間単位で自主学習に取り組む。
部活動との両立、行事の取り組みとの両立を図れるように、各種大会、父母会練習等の予定を考慮し、計画的に自主学習に取り組む。学年点検日(月曜日)までにはその週の分をやりきることにする。
普段 1日2ページ×7日 週14ページ
テスト前 1日3ページ×7日 週21ページ
- ④ 学年点検日(月曜日)での不足分は放課後、居残り学習をする
- ⑤ 自学ノートを2冊準備してもよい。(昼休み、父母会練習前等の、すきま時間の利用が可能)

(各学年・学級のルールを明確に示した)

③ 4月、6月、7月、9月、10月、11月、2月に家庭学習強化週間を設け、学年・学級・生徒会が連携して家庭学習推進の取組を展開した。

家庭学習を考える シリーズその1

先日の全校懇談会で、小原校長先生が全校生徒に向けてお話し下さった内容(“パワーポイント”でご説明されたデータ)をもとに、ご本人のご許可を頂き2年生(及びその保護者向け)に紹介するものです。

2年生、家庭学習の実態

「よく」と「だいたい」を合わせて、80%くらいの生徒が「できた」と回答。

No.	1		2		3		4	
	1	2	1	2	1	2	1	2
1	112	67%	125	76%	85	51%	122	73%
2	36	22%	29	18%	35	21%	26	16%
3	14	8%	8	5%	12	7%	9	5%
4	4	2%	3	2%	35	21%	9	5%

2年生、勉強方法の工夫

- 色ペンを使って分かりやすくしている
- ノートを半分に線で分け、ワークをやったり、過去問をやったりすると効率よくできる。

1週間単位として、先を見越した学習をすることが、課題です。

(学年通信で時間や勉強方法の提示)

花巻中学校 3年通信 写48号 H30.9.9

反省→取り組み→テスト→自己分析(反省次の課題)

この繰り返しで差がつく!!

2年生の点数だけ分析すると、3年生になって初めてこれは理解している人が増えてきた証拠。1年生の時が、点数が伸びたのは、授業の進み方が早い。授業は、もちろん本気で取り組みますが、授業以外の時間をどのくらい学習に向けるかによって、身につく量が違ってきます。この、ノートを毎日やって提出することを軸に、自主学習を毎日やる習慣や内容を考え計画する力を養ってきました。3年生の1学期のスタートに、改めて自主学習の意義を考え、自分なりの目標、目的をもって取り組んでいきましょう。

3年生の1学期のスタートに、改めて自主学習の意義を考え、自分なりの目標、目的をもって取り組んでいきましょう。

自学ノートについてのアンケート (10月)

	1		2		3		4	
	1	2	1	2	1	2	1	2
毎日提出しています。	328	67%	364	74%	175	55%	315	69%
2日提出しています。	114	23%	86	18%	60	19%	85	19%
3日提出しなかった	37	8%	29	6%	24	8%	35	8%
4日提出しなかった	12	2%	12	2%	61	19%	21	5%
1日提出しなかった	119	24%	125	26%	96	29%	112	25%
2日提出しなかった	27	6%	15	3%	25	8%	28	6%
3日提出しなかった	13	3%	11	2%	12	4%	13	3%
4日提出しなかった	4	1%	4	1%	27	8%	8	2%
1日提出しなかった	112	23%	125	26%	85	25%	122	28%
2日提出しなかった	36	7%	29	6%	35	11%	26	6%
3日提出しなかった	14	3%	8	2%	12	4%	9	2%
4日提出しなかった	4	1%	3	1%	35	11%	9	2%

(学級でも意欲を高めた)

(プロジェクトチームによる取組の中間調査)



(生徒会による良い自学ノート紹介も効果があった。全学年で発行した)

【成果】

(1) 家庭学習の定着について

日常的にその良さが実感できるように定期テストや自己診断テストの日程と関連させて計画させたり、家庭学習と授業を連動させて授業を展開したりすることにより、2時間以上の家庭学習の習慣が身についてきた。

(2) わかる授業づくりについて

ユニバーサルデザインの手法を取り入れた授業づくりを全職員で取り組んだ。特に学習課題の設定と振り返りを重点にしてきた。振り返りについては、わかったことの記述や類題を解かせ理解度を見取ることにより、生徒一人一人の達成状況を把握することができ、次時に生かすことができた。

(3) 今年度の目標の達成状況

① 生徒質問紙の「授業内容がよくわかる」1, 2番(肯定)の回答【全国学力・学習状況調査】

	国語	数学	理科
平成30年度	—	69.7%	80.3%
平成29年度	76.1%	60.7%	—

② 平日の家庭学習時間2時間以上の生徒【全国学力・学習状況調査】

平成30年度	28.5%
平成29年度	18.0%

③ 生徒質問紙「授業内容がよくわかる」の1, 2番(肯定)の回答【岩手県学習定着度状況調査】

	国語	社会	数学	理科	英語
平成30年度	76%	83%	74%	88%	60%
平成29年度	90%	94%	83%	77%	69%

④ 平日の家庭学習2時間以上の生徒【岩手県学習定着度状況調査】

平成30年度	22%
平成29年度	21%